

「AMDA 東日本大震災復興支援スポーツ親善プログラム」

RNN 人道援助宗教 NGO ネットワーク主催

RNN 絆ミーティング 2011年8月2日(火)
黒住教本部(岡山市北区尾上神道山)



《プログラム》

慰霊・復興祈願祭（於 大教殿）

黙祷

記念品贈呈

歓迎バーベキューパーティー（於 催し広場）

きずな
《絆キーホルダー》

絆キーホルダーの組紐は、岡山市立吉備中学校、香和中学校の生徒たちが、ひとつひとつ心を込めて編んだものです。紐は編みこむことによって強い組紐になりますが、私たち人間も協力し助け合うことで互いの絆が深められます。今、被災地の中学生の皆さんには、助け合わずには生活もできない厳しい毎日を過ごしていらっしゃることと思います。遠く岡山からはささやかな思いしか届けられませんが、この度のプログラムを通じて、皆さんと私たちとの“心の組紐”を結ぶことができたなら嬉しいです。この思いが届きますように、皆さんに絆キーホルダーを贈ります。

《RNN(人道援助宗教 NGO ネットワーク) について》

RNNはその名の示す通り、人道援助活動等を行う宗教 NGO のネットワークです。1996年11月に発足し、現在12の宗派・教団に所属する有志から構成され、その宗派・教団の枠を超えて国内外における人道援助活動を展開しつつ、慰霊・復興や世界平和を祈るつどい、宗教の正しい理解を広めるためのフォーラム等を行ってきました。

RNN設立の経緯

1996年2月に発生した中国雲南省大震災に際して、AMDAの要請を受けた岡山県内の宗教関係者が、寺院・教会など宗派・教団を超えて支援物資の調達や、岡山空港でのチャーター機への積載作業を共に行いました。同年11月、AMDAもその構成団体である「国際貢献トピア岡山構想を推進する会」(通称「トピアの会」)主催による「第3回 おかやま国際貢献NGOサミット」が「宗教」をテーマに開催され、主要会議の「人道援助宗教NGO会議」(1996年11月24日)において雲南省大震災の被災者救援に関わった宗教関係者を構成メンバーとするRNNが正式に設立されました。以降、正副委員長と事務局長を選出して毎月定例会議を開き、そこで全ての活動の企画などを協議して実行してきました(2011年7月に第168回定例会議を開催)。

RNNの活動の特徴

RNNの設立母体であった「トピアの会」は、医療、教育、宗教、環境、社会福祉といったヒューマニズムを尊重する岡山の県民性を基盤に、国際貢献と地域活性化を目指すことを活動理念とした民間団体でした(1994年設立、2004年発展的解散)。すなわち、RNNは宗教関係者に限定された活動団体ではないという特徴を設立当初から有しており、宗教以外の民間ボランティア組織(NGO・NPO)との連携も保ちながら活動を展開する一方、RNNの海外メンバーやその関係者を通じての独自ルートによる人道援助活動を行ってきました。この他にも、海外メンバーを訪ねて現地視察や交流を行う「RNNスタディーツアー」、ネットワークを通じて得た現地の状況を正しく伝える「RNNボランティア講座」、宗教の正しい理解を啓発するための公開シンポジウム「RNNフォーラム」、さらに被災地に赴いて慰霊・復興や世界平和を祈る活動等を実施してきました。

とりわけ、岡山空襲60年目の日であった2005年6月29日に慰霊・鎮魂・平和を祈って開催した「RNNヒーリングコンサート」以来、複数の構成メンバーによる“癒しと祈りの和奏会”を折に触れて行っています(2010年11月までに7回実施)。

なお、RNNには明文化された規約や規則、そして会費がありません。その活動は、構成メンバーが各自の所属団体や組織の活動に負担を掛けることなく、相互の事情・活動を尊重して、参加できるメンバー団体・有志が自発的に関わって、自らの発言と行動に責任を持って、参加者全員の合意の上で活動を行うという方針が貫かれています。

東日本大震災震災への取り組み

RNNでは、3月13日から4月12日までAMDA支援の街頭募金を展開する一方、メンバーの一人である真言宗僧侶がAMDAスタッフとして3月17日から10日間にわたって被災地(岩手県釜石市と大槌町)に入りました。救援活動をサポートするとともに、津波による被災を奇跡的に免れた曹洞宗寺院の法要に参列して岡山のメンバーと時刻を併せて祈りを捧げ、それが縁で同寺院住職から依頼を受けて、複数の遺体安置所で読経して物故者の冥福を祈りました。そして、3.11から50日目の4月29日、有志による「RNN慰霊祭」を執行しました。黒住教本部神道山の日拝所において、現地報告と黙祷、そして真言宗・金光教・カトリック・天台宗・黒住教による祈りが、順次厳かに捧げられました。同じ頃、メンバーの日蓮宗僧侶が宮城県石巻市の鹿島御児神社で、宮司と金光教の教会長とともに慰霊祭をつとめました。5月31日現在で、AMDAに寄託した募金と寄付金の総額は4,151,855円となりました。

《黒住教について》

黒住教は、岡山藩主池田家の守護神社今村宮の神職の家に生まれた教祖・黒住宗忠(1780～1850)が、日の出を拝んで悟りを得て立教(1814)なった神道教団です。幼少期より親孝行一筋の実直な人柄であった宗忠が、「天命直授」という神人一体の宗教的神秘体験を経て説き明かした、「太陽、とりわけ日の出の太陽に顕現する万物(すべて)を生かし育む親神が天照大御神であり、人は天照大御神の分心(わけみたま)をいただく神の子」という揺るぎない確信が教えの基本で、多くの人々から“開運の宗教”と称えられてきました。

1974年、宗忠生誕の地であり立教の地である大元(宗忠神社が鎮座)から、壮大な日の出を求めて神道山に教団本部が遷座して現在に至っています。

《AMDA 東日本大震災復興支援スポーツ親善プログラム RNN サポーター》(順不同)

真言宗 長泉寺ボランティア基金会 キーホルダーのプレート制作費用のご協賛をいただきました。

真言宗 一等寺	天台宗 圓乗院	(株) 中原三法堂
真言宗 藤田寺	天台宗 本性院	児島メジャーホール
真言宗 大福寺	天台宗 等覚寺	(株) 前川石材
真言宗 蓮福寺	天台宗 圓融寺	敬愛幼稚園
真言宗 松林寺	金光教平和活動センター	第二敬愛幼稚園
天台宗 本乗院	黒住教本部	あさひ幼稚園
天台宗 正覚寺	黒住教青年連盟	工房あおいア
天台宗 神護寺		(有) アルコプランニング

《キーホルダー製作講師・日本編物検定協会会員》(順不同)

久良 多美子 池上 恭子 西中 八千代

《キーホルダー製作サポーター》(順不同)

二宗 玲子 有森 静子 大熊 克子 坪井 いく子
宮脇 直子 水島 光子 佐伯 美津子